

第五十五回お七夜献書展



募集要項・出品規定

(1) 作品の受付について

- ・先の住所へ送付または持参して下さい。
- 〒五一四一〇一四 三重県津市一身田町二八一九番地
高田本山宗務院教学課 お七夜献書展 係
- ・提出期限 令和七年十一月二十八日(金)



(2) 展示場所について

- ・高田本山境内東奥の御対面所から御影堂へかけての廊下に、令和八年一月九日〜十六日のお七夜期間中に展示します。

(3) 出品方法について

- ・お七夜書献書展(応募書)を幼児から学年順に記載して提出してください。
- ・作品の左隅に出品票を貼付けてください。出品票には
 - ① 学校名または書道会名 ② 学年 ③ 氏名 を明記してください。
- ・応募書・出品票はこちらで用意しておりますので、必要数をお申し出下さい。
- ・課題以外の作品は受け付けません。また、作品は原則返却いたしません。

(4) 用紙・書体について

- ・幼児・小学生…書道半紙(楷書)
- ・中学生…細長書初め用紙 ハツ切 682mm×171mm (楷書または行書)
- ・高校生・一般…画仙紙半切 1350mm×350mm (要表装・仮巻可・書体自由)

(5) 出品料について

- ・一点 三百円(先生がとりまとめていただく場合は二百五十円お納め下さい)

(6) 賞について

- ・審査の結果、高田本山賞(各学年一点・宗務総長賞(若干)・総務賞(若干)・中日新聞社賞
- 特選・入選・一身田商工振興会賞・高田会館賞を贈ります。(高校生・一般は審査対象外)

(7) 表彰式について

- ・お七夜期間中(令和八年一月九日〜十六日)に行われる「お七夜子ども大会」にて表彰いたします。ただし諸般の事情により、変更する場合があります。

第五十五回お七夜献書展課題

幼児 しん 高校・一般

小学一年生 こえ (ア) 我建超世願 必至無上道

小学二年生 三宝 斯願不満足 誓不成正覚

小学三年生 安心

小学四年生 無上道

小学五年生 五劫思惟

小学六年生 古今楷定

中学一年生 弥陀の本願

中学二年生 正像末法和讃

中学三年生 特留此経住百歳

(イ) 不退のくらすみやかに

えんとおもわんひとはみな

恭敬の心に執持して

弥陀の名号称すべし



課題解説

しん…ほとけさまをうたがわないところをいいます。

こえ…ほとけさまのこえのことです。

三宝…仏教の大切な三つの宝のことです。

安心…ほとけさまからあたえられる、やすらぎと満足のことです。

無上道…この上ない最高のさとりのことです。

五劫思惟…阿弥陀如来になられるまでにかかった、とてつもなく

長い時間のことです。

古今楷定…お経の正しい意味が、あきらかになることです。

弥陀の本願…阿弥陀如来が、すべてのものを救うために

たてられた深い願いのことです。

正像末法和讃…親鸞聖人がお書きになられた大切な和讃です。

特留此経住百歳…お念仏の教えがずっと続いてゆくことです。



我建超世願 われ世に超えた願をたて

必至無上道 浄土への道開きたい

斯願不満足 この願いもしかなわねば

誓不成正覚 誓って佛と名のらない

不退のくらすみやかに 浄土の往生が間違いない信心を

えんとおもわんひとはみな ただ今獲ようと思う人はみな

恭敬の心に執持して つつしみ敬う心を取り持ち

弥陀の名号称すべし 南無阿弥陀仏と称うべきである

令和七年九月

主催 真宗高田派宗務院

〇五九・二三二・四一七一(代表)

後援 中日新聞社

一身田商工振興会

高田会館



しん

たかだ たろう

安心

小三 高田 太郎

古今
楷定

小六 高田 太郎

こえ

小一 高田 たろう

無上
道

小四
高田 太郎

三宝

小二 高田 太郎

五劫
思惟

小五 高田 太郎



弥陀の本願

中一 高田 太郎

特留此経住百歳

中三 高田 太郎

正像末法和讃

中二 高田 太郎

我建超世願 必至無上道
斯願不満足 誓不成正覚

高田 太郎

不退のくらしいすみやかに えんとおもわんひとはみな
恭敬の心に執持して 弥陀の名号称すべし

高田 太郎